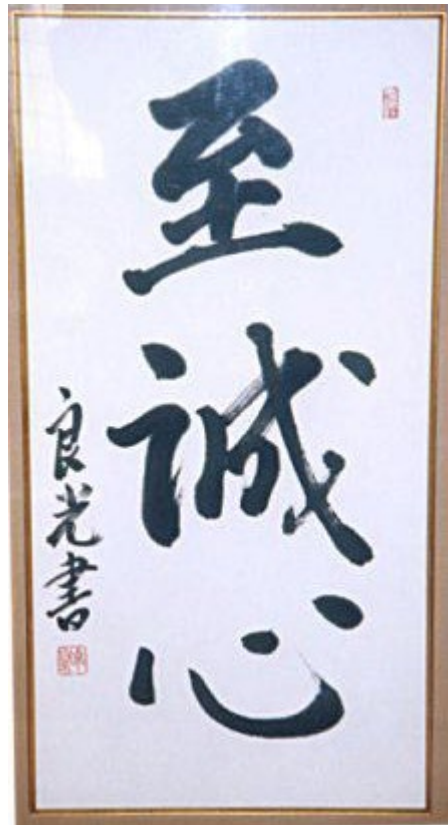


## 普仙寺だより

第119号 平成17年1月



住職の揮毫した書「至誠心（しじょうしん）」（三心のひとつ）  
平成16年12月7日～12日「札木画廊」に展示されました

## 酉年はいつから

平成17年は、干支では乙酉（きのと・とり）に当たります。

干支は中国暦に発し、十干十二支を組み合わせる年を数えます。

十干は

甲（きのえ） ・ 乙（きのと） ・ 丙（ひのえ） ・ 丁（ひのと）  
・ 戊（つちのえ） ・ 己（つちのと） ・ 庚（かのえ）  
・ 辛（かのと） ・ 壬（みずのえ） ・ 癸（みずのと）

十二支は

子 (ね) ・ 丑 (うし) ・ 寅 (とら) ・ 卯 (う) ・  
辰 (たつ) ・ 巳 (み) ・ 午 (うま) ・ 未 (ひつじ) ・  
申 (さる) ・ 酉 (とり) ・ 戌 (いぬ) ・ 亥 (い)

といます。

中国暦における年の数え方ですから、中国暦の新年から酉年（とりどし）になるわけです。そのため旧正月の日、つまり西暦2005年2月9日から酉年です。

## 年末大掃除

平成16年12月26日に、華頂婦人会の役員の方と、総代会の方に、年末の大掃除をしていただきました。

境内や墓地をきれいにしていただき、浄焚式（回向済みの塔婆や不要な位牌などをたきあげます）の準備をしていただきました。



総代会、年末の大掃除。浄焚式のための杭打ち  
平成16年12月26日撮影

## 知恩院伝宗伝戒道場満行式と御身拭式参加

平成16年12月25日に総本山知恩院伝宗伝戒道場満行式と御身拭式参加しました。

普仙寺からは、杉浦信近さん、杉浦文子さんと住職加藤良光が出席しました。



知恩院伝宗伝戒道場満行式と御身拭式  
左から杉浦文子さん、杉浦信近さん、住職。平成16年12月25日撮影

## [参加案内] 総本山知恩院高齢者招待祝賀会

### 期日

平成17年4月18日(月)

### 場所

京都 [総本山知恩院](#)

### 対象者

普仙寺檀信徒で80歳(大正14年生まれ)を迎えられた方  
または80歳以上で今までに参加されていない方。

### 付添人

当日1名に限り付添い同行が認められます。

### 日程

午前10時30分 受付  
午前11時 サラナ寄席・祝膳  
午後1時 祝賀式

午後3時30分 解散

### 接待

記念品が頂けます。

(但し、代理は認められません)

### 申込締切

2月15日までに所定の用紙に記入の上、普仙寺へお申し込み下さい。

### 費用

運賃は個人で負担して下さい。

(参考：新幹線京都往復運賃13,640円)

## 寺行事案内

### 土曜礼拝 (どようらいはい)

毎週土曜日 午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

#### ◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

#### ◇法然上人御法語の予定

1月8日からは

- 後編第27章 転重軽受
- 後編第28章 順逆二縁
- 後編第29章 一蓮托生
- 後編第30章 回向

### 住職説教 (じゅうしょくせっきょう)

平成17年1月25日(火) 午後7時～8時

この日は、浄土宗の開祖法然上人の祥月忌日です。法然上人は建暦2年(1212)の

正月25日の正午、大谷の禅房（現在の知恩院勢至堂の場所）にてご往生なされました。お年は、お釈迦様と同じ80歳でした。法然上人のご生涯を普仙寺本堂に掛けた絵伝を指しながらお説教させていただきます。

### 寒念仏（かんねんぶつ）

平成17年1月29日（土） 午前7時30分～8時

暦でいう寒中の間のお参りを、寒参り、寒詣で、寒行といいます。

浄土宗では特に寒念仏と呼んで、お参りします。ぜんざいの御接待をします。

※寒中（本年は1月5日から2月3日まで）

### 善光寺如来縁日（ぜんこうじによらいえんにち）

平成17年2月8日（火） 午後6時より

本堂左脇壇にて善光寺の御詠歌をお唱えします。

### 月並法要（つきなみほうよう）

平成17年2月8日（火） 午後6時30分より

年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。

### 御忌法要（ぎよきほうよう）

平成17年2月16日（水） 午前10時半～午後3時半

◇午前 御忌法要

◇午後 法話 長野教区 湯地尋海上人

◇詠唱奉納

法然上人の忌日法要を御忌（ぎよき）と呼びます。

普仙寺ではこの地方の習慣に倣い、月遅れでお勤めします。